

市民ネットワークちば

発行責任者 坪井はるか



「市民ネットワーク」市議 湯浅美和子（美浜区）・山田京子（若葉区）

編集・発行 市民ネットワークちば 〒260-0013 千葉市中央区中央 4-10-11 TEL043-201-2551 FAX043-223-7701

2011年統一地方選挙を受け止めて



市民ネットワークちば代表 坪井はるか

東日本大震災の発生と東電福島第一原発の事故から、被災地では困難な状況が続いています。千葉市でも美浜区で液化化による大きな被害が出ました。震災から1カ月で投票日を迎えた今回の選挙では、非常事態に国政を頼んでか、市議選でも「自民」「みんな」と保守政党候補が票を伸ばしました。

市民ネットワークちばでは、各区とも得票を大きく減らしました。美浜区と若葉区で現職の市議が当選、新人が全員落選という厳しい結果でした。中央区の県議も及びませんでした。設立から21年目、ネットとして6回目の選挙で、大きな後退を余儀なくされました。働く女性が増えて活動の新しい担い手を得られず、代理人（議員）候補者の選出が遅れたことも大きな要因でした。これまでの担い手の枠を超えて活動を広げられるのか、正念場を迎えています。

原発の事故を受けて開かれた学習会やデモで、政治を放っておけないと参加した人たちに会いました。政治が国や市の未来を決め、その政治は選挙によって私たち自身が決めていきます。代理人が二人だけという厳しい状況ですが、「くらしみつめれば政治」の思いをさらに多くの人に伝える活動を、市民ネットワークちばは続けていきたいと思っています。

票の重みを胸に刻んでスタート

だから自分がここにいます

創生期の議員数に戻った市民ネットワークちば。重い責任を感じる一方、私は私なりに、市民ネットの活動の中で一つの役割を果たすという気持ちで肩ひじ張らずに臨もうと考えています。

もともと、職業化しない、特権化しない議員をたくさん送りだそうと始まった市民ネット。だからこそ自分はこの中にいるのだと思います。

しかし、景気の低迷、国政の混乱、そして大震災が続く、政治に力強さを求めている市民が増えているのかもしれない。頼れる議員も必要ではないでしょうか、「お任せ下さい」の議員では、市民は議会を遠くに置いたまま、市民自治は遠のくばかりです。

私の役割は、市民と議会を近づけること。「山田さんが議員になったのきっかけに市議会だよりをよく読



市議会議員 山田京子（若葉区）

むようになった」「ホームページを見るようになった」とか、「委員会を傍聴してみた」「パブコメに意見を言うようになった」とか、「出前講座を開いた」「請願を出した」とか・・・そんな行動する市民がさらに増えてほしいのです。

これからの4年は、特にいままで声を聞くことのなかった方たちの中に、できるだけ飛び込んで、政治が身近であることを伝え、自ら動く市民を増やしていきたいと思っています。

変えるのもみんな、ネットのこれから

この4年間決してサボっていたわけではないが、世間の動向と違っていたのか、戦略がなかったのか、ネットの制度疲労なのか、いろいろ理由はあろうが、ともかく今回の選挙結果が純然たる現実。その現実をどう受け止め、これから何をやるか。厳しい結果ではあるが受け止めていくのもまた責任。

こんな私に議員という経験の場を与えてくれたのは紛れもなく「市民ネットワーク運動」。周囲には「こんな人に議員になってもいい」といふ人がたくさんいる。自分一人では議員になろうなんて考えてもいない人を議会に送り出していくのがネットの醍醐味。「議員へのハードル」は低かったはずなのに、それがいつの間にか高くなってしまったのか、それとも面白がなくなってきたのか。



市議会議員 湯浅美和子（美浜区）

いろんな団体との緩やかなネットワークを確認しながら、人の掘り起こしに努めたい。まずはやっている本人が面白くないのはどうしようもない。これまでも興味深くやってきたつもりだったが、もっと面白く、もっと快活に。

これからの議会対策も大変。例えば常任委員会（※）。5つある常任委員会のうち2つにしか参加できない。ネットの皆さんに是非ともお願い！常任委員会を傍聴し、代理人とともに議会活動を担ってください。

※千葉市議会 常任委員会（総務委員会・保健消防委員会・環境経済委員会・教育未来委員会・都市建設委員会）

原発について 学習会のお知らせ

◆6月25日(土) 14:00～16:00
「原発事故は今後どうなるのか」
・講師：福武公子さん（もんじゅ訴訟弁護団）
・都賀コミュニティセンター 2階会議室（若葉区都賀4-20-1 総武線都賀駅徒歩10分）
・資料代 200円

福島第一原発事故 いまこそ真剣に考えよう

浜岡原発を停止して起こりうる最悪の結果を回避したのは、政府と中部電力の英断です!! 大地震が起ると原子炉や配管が壊れ、そのうち燃料棒の冷却が出来ないと、1日足らずで圧力容器や格納容器が壊れて放射性物質が漏れ出すことは、アメリカでも日本でもシミュレーションの結果から判っていました。それなのに、電力会社と日本政府は「重大事故は起こらない」と決め込み、事故が起こったときの対処方法を考えませんでした。

福島第一原発では、放射性物質が今も大気中や海中に漏れて、情けない程の場当たり的な対応を何カ月も続けているのは、そのツケが回った結果です。福島第一原発で、今も懸命の努力をなさっている方々の被曝がとて心配ですが、早く放射能の放出を確実に止めてほしいものです。

小さい子を持つお母さんや若い方たちは、野菜・水・魚からの放射能は、できるだけ浴びないようにしてください。「直ちに健康に害はない」とよく言われますが、放射能を出す物質を体の中に入れて入れられる程、がんになったり遺伝的な影響を受ける確率が増えます。放射能をよく知ったうえで食物を摂取し、生活しませんか。

浜岡原発停止の後は、工場の稼働時間を休日や夜間にずらし、節電製品を開発し、私たちは早寝早起きをして節電に努め、自然と共存できるエネルギーを開発していけば、電力不足は短期間で解消できます。心ある方々が、千葉市議会、千葉県議会、国会で、原子力政策を変えて、持続的に自然と共に生きていく仕組みを作るよう活躍なさることを期待しております。

もんじゅ訴訟弁護団・事務局長 福武公子